



白船商削弓 だより

第52号 平成14年3月

弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡弓削町下弓削1000

TEL 0897-77-4620 FAX 0897-77-4693

ホームページアドレス <http://www.yuge.ac.jp/>



目 次

着任の挨拶		アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2001四国地区大会	9
校長 西垣 和	1	商船祭	9
退職にあたり		第23回四国地区高等専門学校総合文化祭	10
電子機械工学科 近藤 満夫	1	校内マラソン大会	10
卒業に際して		航海実習について	
五年間部活をして		電子機械工学科 3年 箕島 和美	11
電子機械工学科 5年 村上 謙介	2	IT フェアに参加して	
学生生活を振り返って		田房研究室 卒業研究学生	11
情報工学科 5年 河本 樹也	2	第1回医工学際研究・交流会の報告	
平成13年度卒業生卒業研究テーマ	3	商船学科 多田 光男	12
平成13年度卒業予定者の就職・進学先一覧	4	初茶会	
練習船「海王丸」一般公開	5	情報工学科 4年 澤田 真子	12
創基100周年記念式典を挙げる	5	ホームルームスキー旅行	
「創基100周年記念講演会」開催	5	電子機械工学科 3年 石丸 貴之	13
第12回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	6	留学生スキー教室	
決戦前夜		情報工学科 4年 ファルク	14
情報工学科 5年 白石 浩一	6	長崎の旅行	
クラブ活動状況等	7	情報工学科 3年 アリフィン	14
資格試験等合格者	9		

着任の挨拶

校長 西垣 和

1月10日付けで本校の校長を務めることになり、12日に弓削島に到着しました。こちらに来てからまだ1週間しか経っておらず、西も東も分からない状態ですので、各主事の先生方や事務の関係者から本校の実状について、いろいろと説明を伺っているところです。早く慣れて十分な役目が果たせるようにしたいと考えております。



1月9日までは神戸商船大学（神船大）に勤めていました。私の郷里は兵庫県北部の温泉町ですが、神戸には大学生の頃から45年間暮らしました。アメリカ留学などで留守もありましたが、約39年間で神船大で過ごしました。神船大では主に、極低温物理（約1K）の海洋科学工学への応用（超伝導電磁推進船、海流発電、磁気分離、海水の磁場効果、液体水素タンカー貯槽等々）について教育研究すると共に、副学長など管理運営にも携わりました。これらの経験が少しでも本校の発展に役立てばと思っています。

これまで芸予諸島付近は何度か通ったことはありますが、弓削島に来たのは初めてです。1月12日に尾道港より高速船で来ましたが、大変穏やかな天気恵まれ、きれいな海と島々の美しさには感動しました。このような素晴らしい環境の国立学校で海の自然・文化・技術・工学を学び、人格の形成に勤しんでいる弓削商船の学生は大変恵まれているなあ、と感じています。

本校では昨秋、創基100周年記念祭が盛大に執り行われたと聞いています。これから更なる発展を目指してスタートする訳ですが、現在の国立学校にはかつて経験したこともない、大変革の波が押し寄せており、大学・高専を問わず大胆な改革が求められています。永い伝統を誇る本校に赴任したことを光栄に思うとともに、弓削商船校丸の舵取りの責任の重さを痛感しています。これから本校の関係者には多くの協力をお願いしつつ、荒波を乗り切って行かねばなりません。皆さんのご協力を切にお願いいたします。

退職にあたり

電子機械工学科 近藤 満夫

このたび定年により退職いたします。企業を定年退職後、ご縁がありまして、本校で3年間勤務いたしましたが、お陰様で健康で無事退職できますことを感謝いたしております。



振り返ってみると、あっという間の3年間で、教えることが不慣れなまま退職するようなきがいたしております。授業、実験実習、卒業研究、寮宿直などを通して、学生から適度に刺激され若いエネルギーを受け、会社生活では味わえない貴重な経験ができましたことを喜んでおります。

昨今の社会情勢の変化は早く、大変きびしいものがあります。国も企業もあまり頼りにはできない時代になりつつあります。これに対応するには個人が能力を高めるしか方法はないと思います。

学生の時から、自負をもち、好きなこと進みたい道を早くみつめてほしいものです。

著名な経営コンサルタントの船井幸雄氏が、多くの人と接した経験から「人生が楽しくなる条件」として

1. 勉強好き（知らないことを知るのが好き）
2. 素直（よほど確信がない限り否定しない）
3. プラス発想（常に良いこと、良くなることを思う）

の3つを挙げています。心がけてみては如何でしょうか。

最後になりましたが、教職員、学生の皆様のご多幸と本校の今後の御発展をお祈りいたしまして、お別れの言葉いたします。

卒業に際して

五年間部活をして

電子機械工学科5年 村上 謙介

この学校に入学して、5年という長くとも短くともとれる年月が経ち、その間に数え切れない幾つもの事を学びました（多分）。その中でも、一番自分に影響を与えたのは部活でした。入学当時、既に『硬式テニス部』に入部すると決めていました。ただ、中学時代には違う部活（軟式野球部）をしていたし、テニスは未経験だったので、全く未知の世界で不安もありました。しかし、実際に部活に入ってみると、先輩たちが色々と指導してくれた事もあり、その不安も徐々になくなりました。

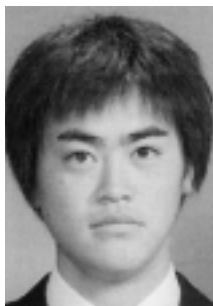
1、2年の頃は、練習が中々思うようにいかず、何度か辞めようかなと思いました。しかし、その度に周囲からの励ましもあって、今までこうして続けることが出来ました。

3年の時、高専大会に初めて出場し、団体戦で優勝しました。その時のみんなの喜ぶ顔と、自分の努力が報われた時は何とも言えない充実感でいっぱいでした。これは絶対に忘れられない思い出になりました。全国大会では、まあ予想通りの結果で終わりましたが、初めての経験でもあり、勉強になる事がたくさんありました。

4年になると、何故か部長に任命され、責任感とプレッシャーを感じました。また、勉強の方も少しずつ忙しくなり、時間的にも精神的にも余裕がなくなってきました。しかし、どこでどう間違えたのか、またしても団体戦で優勝してしまいました。しかも全国大会の会場が北海道だったので、その喜びも格別のものでした。

5年になり、卒業研究や進学活動等で時間はなかったものの、部活動最後の年という事もあり、週末など出来るだけ練習に参加するようにしました。その結果、高専大会で団体は逃したものの、シングルス、ダブルスと優勝する事ができました。ただ、全国大会の会場が尾道だったのが悔やまれて仕方ありませんでした。

私の5年間は、部活動と共に在ったと言っても過言では有りません。そこから多くのものを学び、また後輩たちにも何らかのものを残す事ができた(?)と思います。



学生生活を振り返って

情報工学科5年 河本 樹也

この5年間という長かったようで短かった日々を振り返ると、これまでの時間が自分の知らないうちに、かけがえのないものになっていました。

入学するときは何も分からず、ただ周りについていくのが精一杯で、すべてにおいて不安が自分に襲いかかってきました。

しかしそんな心配はほんの数週間でなくなってしまいました。良い友達に恵まれ、部活動にも参加し、勉強もどうにか乗り越えていくことが出来ました。

また、商船祭や体育祭などに参加し、自分たちで仕事をしていく中で高専生活を違った角度から楽しむことが出来ました。

5年生になると、就職活動がはじまり、クラスみんながプレッシャーをともに乗り越えながら同じ境遇を語り合う中で、友情が深まりました。就職活動を通して感じたことは、高専の勉強では1年生から3年生までは主として専門教育の基礎勉強に割り当てられていましたが、これが就職・進学でとても大切だということです。

このようにいろいろな思い出がありますが、一番の思い出は何かと聞かれれば、野球部で5年生の夏の四国高専大会で23年ぶりに優勝したことです。4年生の時に優勝できなかった悔しさをバネに練習してきた成果がだせ、何にもかえられない喜びを感じることが出来ました。

これらの経験の中にはいろいろな失敗はありましたが、それにも負けずに無事卒業を迎えることができる要因は、先生方、友達、家族の支えと、自分自身の強い意志だと思います。この気持ちを忘れずにこれから先の困難を乗り越えていきたいです。

最後に、在校生の皆さん、これから高専に入ろうと考えている中学生の皆さん、最初にも述べましたが高専生活の5年間というのは、本当にあっという間です。学生生活の中で勉強や部活動はもちろん重要ですが、学生生活を楽しむために最も大切なことは、それらの時間を共有できるよき友をつくることだと思います。この学校を卒業するとき、後悔しないよう十分楽しんで良い思い出をたくさん作ってください。



平成13年度卒業生卒業研究テーマ

電子機械工学科

焼結法による BiSrCaCuO 超伝導材料の作製 松本 智晴

スパッタ法による YBa₂Cu₃O 薄膜の作製 柏原 健 村上 謙介

工業用純チタンの強度延性異方性に関する研究 松本 昌之

マグネシウム合金の低サイクル疲労におけるき裂伝ばに関する研究 アズラン

指先指示に協調する共存型知能機械の感性工学的評価 岡林 圭 越智 毅志 田窪 一樹 原田 照雄

易 CAD/CAM システムの構築 黒瀬 健介 山村 昇

種々の負荷と形状における応力集中について 児島 聡一郎 村上 怜也

レゴとロゴによるプログラミング学習に関する研究 笠井 麻衣子 村井 真紀

ロボット制御によるプログラミング学習に関する研究 岡野 広邦 濱田 忠義

研磨抵抗の測定に関する基礎的実験 大石 雄三 接線力による微小変位特性の精密位置決めへの応用 阿部 亮太

セラミックスと金属の摩耗特性 前田 規敬

半導体素子の評価 藤井 健輔

異方性を考慮した多孔板の弾塑性有限要素法解析 福田 英次 村上 大輔

塑性加工に関する接触問題解析 岡野 克也 菅野 大蔵

非線形ダイナミクスの解析～多数の共振点をもつ発振器系～ 荒木 啓介 宮地 宏和

新エネルギーについて 赤瀬 勇樹 安部 洋一 笑いの情動下での動的顔色と表情を伴うバーチャル顔画像合成における顔色の効果 松井 星子

情報工学科

生活排水の水質改善に関する研究 岡野 恵梨

岡元 美波

高速道路における渋滞解消シミュレーション 眞鍋 勇志 山岡 準

電気自動車における制御方式の検討 中本 翔

長崎 孝一 ファルウィズ

しまなみ海道開通による島嶼部の交通環境変化に関する研究～移動交通時間の分析 清水 陽子

高見 京子

しまなみ海道開通による島嶼部の交通環境変化に関する研究～本校学生の出身地の分析 河本 樹也 村上 貴康

波形認識プロセッサの開発 村上 絵理 チイ

高齢者健康管理システムの開発 林 浩二 藤澤 英雄

情報処理教育用ライブラリの作成 濱脇 真実

松浦 志保 村上 貴恵

非接触型タグを用いた店舗案内システム 川本 諭

VR を用いた乗馬体験システム 郷原 慎也 白石 浩一 田窪 恭子 村上 弘光 元森 龍太

多視点画像処理による3次元モデルの生成～復元精度に関する研究 阿部 幸恵 谷田 智恵子

多視点画像処理による3次元モデルの生成～自動特徴点抽出に関する研究 香川 仁美

多視点画像処理による3次元モデルの生成～3次元モデル生成に関する研究 安藤 美紀

明るさを考慮した家具の最適配置 岡野 宏美

金山 竜也 三河 愛子

平成13年度卒業予定者の就職・進学先一覧

(電子機械工学科)

セコム(株)
横浜電工(株)
トランス・コスモス(株)
(株)前川製作所
日本自動ドア(株)
職業訓練校
ケイラインエンジニアリング(株)
川重マリンエンジニアリング(株)
(株)朝日工業社
セントラル電子制御(株)
村田機械(株)
横浜電工(株)
富士電エンジ(株)
日設エンジニアリング(株)
技研電子(株)
西日本旅客鉄道(株)
長岡技科大学(電気電子情報)
長岡技科大学(機械工学)
豊橋技科大学(生産システム) 3名
香川大学(工学部)
信州大学(農学部森林学科)
九州工業大学(機械システム)

(情報工学科)

(株)富士通ハイパーソフトテクノロジー
西日本旅客鉄道(株)
因島鉄工(株)
富士通サポート&サービス(株)
オリンパス光学(株)
(株)エイペックス
(株)菱友システム技術 2名
(株)ヴァル研究所
三菱重工(株)高砂製作所
(株)ユーホー
日立通信システム(株)
(株)ジャパンアウトソーシング
京セラ(株)
(株)サン・テクトロ
(株)富士通アドバンスソリューション
日昇無線(株)
四国電力(株)
松下寿電子工業(株)
石井工業(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
マツダ(株)
東レ(株)
(株)沖電気カスタマアドテック
ネクトウエア(株)
東芝プロセスソフトウェア(株)
総合警備保障(株)
スペースデザインカレッジ
東京映像芸術学院
和歌山大学
図書館情報大学

練習船「海王丸」一般公開

弓削商船高専では、10月27日(土)創基100周年記念行事の一環として、独立行政法人航海訓練所の練習船「海王丸」の一般公開を行った。

当日は天候にも恵まれ、約400名の見学者を、本校実習船係留場から弓削町沖に錨泊している「海王丸」まで、実習船「はまかぜ」並びにチャーター船により輸送した。

「海王丸」では、制服姿の実習生が見学者を敬礼で出迎え、甲板の設備や船室内等の案内役を勤めていた。

また、見学者達は、マストや操舵輪等をバックに記念写真を撮ったりして思い思いに楽しんでいった。

弓削商船高等専門学校 創基100周年記念式典を挙

明治34年(1901年)に弓削村外1ヶ村海員学校として開学されて以来、今年で創基100周年を迎えた弓削商船高等専門学校では、11月2日に来賓、学生及び教職員合わせて約870名の出席を得て、同校第二体育館に於いて記念式典を挙

行した。記念式典では、病氣療養中の森田校長に代わり、校長事務代理の小川教務主事が、森田校長の現況を報告の後、「独立行政法人化が避けられなくなった今、創造力を高め視野を広げる教育の実施、少子化が進む中での入学者の確保と多様な学生の受入体制の整備、専攻科設置の推進など最大限の努力を払っていきたい。」と同校長の式辞を代読した。

続いて、遠山敦子文部科学大臣の祝辞を中島潔専門教育課補佐が代読し、加戸守行愛媛県知事(前田瑞枝副知事が代読)、木下良一弓削町長、生越久靖国立高等専門学校協会会長(福井高専校長)が祝辞を述べた。

第一体育館で行われた記念祝賀会では、川村赳

全日本船舶職員協会会長、米山阿南工業高等専門学校長の祝辞に続いて、小川校長事務代理と来賓代表による鏡開きが行われた後、野々宮同窓会長の発声で乾杯、創基100周年を盛大に祝った。

弓削商船高専「創基100周年記念講演会」開催

弓削商船高専では、平成13年1月11日から順次行われた「創基100周年記念事業」の締めくくりの行事として、11月17日(土)日本作詩家協会会長であり、同校校歌の作詞者である星野哲郎氏を講師に迎え、学生・教職員及び一般を対象に記念講演が行われた。

講演に先立ち、商船学科1・2年生による校歌の斉唱があり、引き続き、「出会いこそ わが唄」という演題で、作詞家になった経緯や作詞する際の裏話等が語られ、聴衆からは小さな笑いが何度も巻き起こり、貴重で楽しいひとときを過ごした。



第12回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

全国高等専門学校第12回プログラミングコンテストの本選が10月13日、14日に山形県鶴岡市の中央公民館等を会場に、鶴岡高専が開催校となって行われた。

今回は、第13回全国生涯学習フェスティバル（文部科学省、山形県等主催）の参加企画の一環として行われ、出展された作品は多くの一般入場者に公開された。

本戦には予選を勝ち抜いた課題部門10チーム、コンテンツ部門11チーム、競技部門55チームの計76チームが参加。内容の濃い熱きバトルが展開され、課題・コンテンツの両部門は弓削商船高専が最優秀賞を獲得、競技部門は宮城高専が優勝し、それぞれ文部科学大臣賞が授与された。

決戦前夜

情報工学科5年 白石 浩一

平成13年10月12日、第12回プログラミングコンテストに参加するため、僕達は山形県へと飛び立った。眼下に広がる日本の大地を眺めながらも心は以前の大会へと飛んでいた。



プログラミングコンテストに存在する3つの部門、課題、コンテンツ、競技。第10回、情報工学科3年だった僕達は競技部門に挑戦し、惜しくも一回戦にて敗退。そのとき僕達は敗北の辛さを知る。今までこのプログラムにかけてきた努力が容赦なく否定される瞬間。これ以上無い脱力感に苛まれる。こんな思いは2度と味わいたく無い。退部を本気で考えた。しかし踏みとどまった。来年こそは、その思いが自分を部へと縛りつけた。

第11回プログラミングコンテスト課題部門、テーマは「自然との共生」。そして瞬く間に月日は流れていった。競技部門は後輩に任せて、僕達は

課題部門に挑んだ。嫌な予感がした。何かが足りていないのではないかという思いが頭から離れなかった。焦りはプログラムの完成を遅らせ、それは更なる焦りを生み出した。結局、出発前日までプログラム修正に迫われ、心休まる間も無いままプログラミングコンテスト開催地へと駆ける。敢闘賞。それが結果だった。再び否定される努力、流れる涙。ハードルは高かった。

時はそんな激情を洗い流し、痛みを忘れさせる。それは悪い事ばかりではなく、最後にもう一度挑戦する勇気を生む。課題部門のテーマは去年のまま、雪辱を果たすにはもってこいである。

チームが考え出したのは乗馬体験シミュレータ『ProjectU』。既存のシミュレータには無い手入れ機能を実装することによって自然との共生を図る。春からプログラミングに多くの時間を割き努力してきた。夏休みも毎日のように朝から夕方まで作業漬け。後半は合宿して完成を急ぐ。授業が始まってからも、作業は続く。メンバーは就職活動に時間を食われながらも己の持つ力をプログラムにぶつける。乗馬時に使う馬型デバイスが完成し、圧力センサーの位置を調整し、データ取りに励む。努力すればするほど時間が足りないと感じる。完成度を求めると次から次へとやるべき作業が湧いて出てくる。限られた時間の中、なれない天井を見上げながら眠りにつく時すらプログラムのことを考える・・・そんな日々が続きあんなに遠いと感じていた10月13日が・・・

ふと感傷に浸る自分に気づく。馬鹿馬鹿しい、全て終わった事だ。今心配すべきは目の前に立ちふさがる第12回プログラミングコンテストという壁の事である。眠ろう、そして夢を見よう。目を覚ましたら、その夢を叶えるのだ。もう、すぐそこにある。

クラブ活動状況等

[平成13年度愛媛県高等学校新人大会]

(陸上競技)

期 日 平成13年 9 月22日(土)～24日(月)

場 所 愛媛県総合運動公園陸上競技場

成 績

400m 予選落ち 柏原 正樹 (M 2)
53秒49

400m 予選落ち 長谷川将司 (I 2)
53秒89

1500m 予選落ち 柴田 光 (M 2)
4 分23秒37

1500m 予選落ち 藤本 進矢 (I 2)
4 分28秒77

5000m 12位 柴田 光 (M 2)
16分25秒47

5000m 14位 藤本 進矢 (I 2)
16分27秒75

4 × 400m R 予選落ち
岩本 祐輔 (S 2)
3 分39秒13

柏原 正樹 (M 2)
長谷川将司 (I 2)
益濱 弘 (M 1)
砲丸投 13位 宮田 真自 (S 1)
9 m19

円盤投 14位 宮田 真自 (S 1)
27m47

女子100m 6 位 峯松 順子 (M 2)
13秒01

女子200m 8 位 峯松 順子 (M 2)
27秒77

女子走幅跳 19位 峯松 順子 (M 2)
4 m21

女子やり投 5 位 早柏ちひろ (S 2)
32m71

女子砲丸投 7 位 早柏ちひろ (S 2)
8 m85

(テニス)

期 日 平成13年11月 3 日(土)・ 4 日(日)

場 所 南レクプレーランドテニスコート

成 績 個人戦ダブルス 1 回戦敗退
内藤 宣二 (S 2) ・ 田中 慶 (M 2) 組

(柔 道)

期 日 平成13年11月17日(土)・ 18日(日)

場 所 宇和島市立総合体育館

成 績

団体戦 1 回戦敗退

川内 周太 (M 2) ・ 足立 雅俊 (S 1)

武田 康裕 (S 1) ・ 山田敬太郎 (I 1)

個人戦

60kg級 山田敬太郎 (I 1) 1 回戦敗退

81kg級 足立 雅俊 (S 1) 1 回戦敗退

100kg超級

川内 周太 (M 2) 1 回戦敗退

(剣 道)

期 日 平成13年11月17日(土)・ 18日(日)

場 所 西条高等学校

成 績

団体戦 2 回戦敗退

岡野 豊 (S 2) ・ 後藤 誠司 (M 2)

大西 克孝 (M 1) ・ 山下 克人 (S 1)

小藪慶伊太 (S 1)

(バドミントン)

期 日 平成13年11月18日(日)

場 所 クラレ西条体育館

成 績

団体戦 1 回戦敗退

田名後 翔 (I 2) ・ 森本 猛 (I 2)

高田 寛 (S 1) ・ 米倉 正和 (S 1)

渡辺 文浩 (I 1)

[第32回因島市総合体育大会]

(サッカー)

期 日 平成13年10月 7 日(日)

場 所 因島運動公園多目的競技場

成 績 弓削商船高専 A 準優勝

弓削商船高専 B 3 位

(テニス)

期 日 平成13年10月14日(日)

場 所 因島運動公園テニスコート

成 績

男子ダブルス C 級

村本 智貴 (M 4) ・ 内藤 宣二 (S 2) 組
優 勝

山下 裕規 (S 2) ・ 田中 慶 (M 2) 組
準優勝

女子ダブルス D 級

原 瑠美(Ⅰ 2)・山本依里佳(Ⅰ 1) 組
準優勝

[平成13年度愛媛県秋季陸上競技大会]

期 日 平成13年10月27日(土)～28日(日)

場 所 愛媛県総合運動公園陸上競技場

成 績

女子やり投 5位 早柏ちひろ(Ⅱ 2)
34m61

女子砲丸投 6位 早柏ちひろ(Ⅱ 2)
8 m25

[高校駅伝]

第52回全国高等学校駅伝競走大会兼第45回四国
駅伝競走大会愛媛県予選会

期 日 平成13年11月2日(金)・3日(土)

場 所 愛媛県総合運動公園陸上競技場

成 績 12位 2時間28分54秒

寺内 大造(Ⅲ 3)・柴田 光(Ⅱ 2)

柏原 正樹(Ⅱ 2)・藤本 進矢(Ⅰ 2)

岡野 甫(Ⅰ 2)・長谷川将司(Ⅰ 2)

益濱 弘(Ⅱ 1)・金本 健児(Ⅱ 1)

[三島五町テニス大会]

期 日 平成13年11月4日(日)

場 所 大三島緑の森公園

成 績

女子ダブルス

古江 綾子(Ⅰ 4)・尼子 順子(Ⅰ 4) 組
優 勝

[第2回伯方町テニス(シングルス)大会]

期 日 平成13年11月18日(日)

場 所 伯方S・Cパーク

成 績

男子A級 村上 謙介(Ⅱ 5) 準優勝

男子B・C級 村本 智貴(Ⅱ 4) 優 勝

女子A・B級 古江 綾子(Ⅰ 4) 優 勝

尼子 順子(Ⅰ 4) 準優勝

[瀬戸内三校漕艇大会]

期 日 平成13年11月18日(日)

場 所 大島商船高等専門学校

成 績

新人戦 1位 弓削商船高専 8分37秒84

2位 広島商船高専 8分58秒64

3位 大島商船高専 10分27秒80

Aクルー 1位 弓削商船高専 9分02秒28

2位 広島商船高専 9分31秒82

3位 大島商船高専 10分00秒67

[第38回四国地区高等専門学校総合体育大会ラグ
ビーフットボール競技]

期 日 平成13年11月3日(土)

場 所 高松高専グラウンド

弓削高専 17 — 10 高松高専

期 日 平成13年11月10日(土)

場 所 阿南高専グラウンド

阿南高専 28 — 5 高松高専

期 日 平成13年11月24日(土)

場 所 弓削高専グラウンド

弓削高専 21 — 19 阿南高専

成 績 1位 弓削高専

2位 阿南高専

3位 高松高専

[第32回全国高等専門学校ラグビーフットボール
大会・第36回全国高等専門学校体育大会]

期 日 平成14年1月5日(土)

場 所 神戸総合運動公園ユニバー競技場

成 績 2回戦敗退

弓削高専 7 — 31 久留米高専

[第48回大島一周駅伝大会]

期 日 平成14年1月14日(月)

場 所 石文化運動公園(宮窪町・吉海町)

成 績 一般・高校の部

2位 1時間42分15秒

区間賞 4区 藤本 進矢(Ⅰ 2)

[第35回伯方島一周駅伝大会]

期 日 平成14年1月20日(日)

場 所 伯方S・Cパーク(伯方町)

成 績 高校の部

2位 58分47秒

[第3回愛媛県高等学校剣道1年生大会]

期 日 平成14年1月20日(日)

場 所 ツインドーム重信

成 績 ベスト8

小藪慶伊太(S1)・大西 克孝(S1)
山下 克人(S1)・寺島 裕之(M1)

資格試験等合格者

二級海技士及び一級海技士資格のうちの筆記試験
一級

S5 菅 慎太郎, 箱崎 純一
S4 今井 啓介, 西谷 勇二, 松本 大輔
村上 伸一

特殊無線技士

第1級海上

S4 賤前 正美
S3 石川 祐二, 平田 真也

小型船舶操縦士

1級

S4 齋藤 克浩, 田渕 晋也, 浜咲 昭雄
濱中 一浩, 山川 達治, 山本 桂司
S3 植田 純也, 植田 翔児, 高木 宏
玉田 大輔, 中谷 省吾, 原田 修平
平田 真也, 平野 豊, 福本 健朗
藤原 亨, 山口 慎吾
M3 片山 雅史, 山本 一等
I3 高原 涉, 本多 俊哉

4級

住村 航太, 清水 良祐, 平山 悠太
松下 大輔

日本漢字能力検定試験

準2級

I1 鳩野 利英, 村上歌奈子

3級

S1 高田 寛
M1 石井 良一, 上園 哲也, 加納 靖将
木下つる代, 砂川 隆宣, 中川裕太郎
原山 晋也
I1 越智 大輔, 柏原 伸哉, 加藤 裕之
亀田 幸作, 郷原麻衣子, 小牧 洋介
佐伯 拓郎, 澤村 智也, 竹村枝里子
林 真平

4級

M1 小村 太郎, 村上 弘治
I1 片山真由美, 村上 友美

画像情報技能検定

3級

I4 赤尾 和英, 赤星 雄希, 岩本 章子
小森 友寛, 島岡 哲也, 大黒 夏美
中川 三絵, 松浦 加奈, 宮市 友紀
宮地 里佳, 村上 真由, 村上 侑一
村上 由理, 山本 晃央

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2001四国地区大会

期 日 平成13年10月28日(日)

場 所 阿南工業高等専門学校第1体育館

成 績 1回戦敗退 弓削商船A「天地無用」
1回戦敗退 弓削商船B
「どっぼりがっぼり」

出場者

「天地無用」

担当教官 中山 恭秀
学 生 藤原 忠弘(M4)
松本 智晴(M5)
西岡 雄大(M1)

「どっぼりがっぼり」

担当教官 瀬濤 喜信
学 生 兼田 一範(M2)
真田 悠生(M4)
道久 隆幸(M1)



商船祭

第31回商船祭は、創基100周年の記念すべき年でもあり、「ファーストライト～1/100～」というテーマで、芸能人による「今井雅之トークショー」など盛大なイベントで、平成13年11月10日(土)・11日(日)の2日間にわたり開催された。

第23回四国地区高等専門学校総合文化祭

期 日 平成13年11月17日(土)・18日(日)
 テーマ JOYFUL!
 場 所 阿南市市民会館, 阿南ひまわり会館
 主管校 阿南工業高等専門学校
 入賞者

絵画部門

優秀賞

松井 星子 (M5) 「四季」



佳 作

赤瀬 勇樹 (M5) 「少女」

書道部門

優秀賞

山下 克人 (S1) 「翔」



佳 作

木下つる代 (M1) 臨「蘭亭叙」

校内マラソン大会

—— 男子 ——

01 - 00:29:30	M 2	柴田 光
02 - 00:30:06	M 5	前田 規敬
03 - 00:31:29	M 2	柏原 正樹
04 - 00:31:29	M 1	益濱 弘
05 - 00:31:30	M 1	金本 健児
06 - 00:31:30	I 2	藤本 進矢
07 - 00:31:35	S 3	寺内 大造
08 - 00:31:38	M 1	野田 達也
09 - 00:31:51	I 2	岡野 甫
10 - 00:31:52	I 2	長谷川 将司

—— 女子 ——

01 - 00:26:49	I 3	松野 祐果
02 - 00:27:39	I 1	山本 衣里佳
03 - 00:29:08	S 2	早柏 ちひろ
04 - 00:29:26	I 1	青野 寛子
05 - 00:30:02	I 4	古江 綾子
06 - 00:30:28	I 2	原 瑠美
07 - 00:30:40	M 2	峯松 順子
08 - 00:31:01	I 4	尼子 順子
09 - 00:31:25	I 2	宮森 友美
10 - 00:32:04	I 1	片山 真由美



航海実習について

電子機械工学科 3年 箕島 和美

2001年11月6日から3日間、神戸へ航海実習に行きました。行きは海がとても荒れていたので酔いする人が多数でとても大変でした。航海実習での目的は会社実習だと分かっているけど、クラスみんなと船で生活するというのも私の中ではすごく楽しみでした。機関制御室での当直実習はとても興味深いものがありました。私達は電子機械工学科なので商船学科とは全く別のことを勉強しているとずっと思っていたんですが、船のエンジンも陸のエンジンもあまり大きな違いはなく、普段学校で勉強していることがいかに大事かということを実感しました。瀬戸大橋や明石海峡大橋を下から眺めたのは心に残りました。

三菱重工の神戸造船に見学に行くと、まず最初に会社概要のビデオを見せてもらいました。そしてバスに乗って会社内を案内してもらったのですが敷地内に信号もあって驚きました。設計開発センタービルの1階に資料館があり、そこで神戸造船所の歴史を教してもらい、私はずっと船だけを造ってきたのだと思っていたんですが、会社設立当時は車や自動車も作っており、戦後すぐは造るものがなくて、鍋やフライパンなどを造っていたそうです。三菱重工は全国に14ヶ所造船所をもっており、中でも神戸造船所はトップクラスに入り、社員数は5千人をこえています。三菱重工は今でもいろんなことを手がけており、船だけでなく、原子燃料サイクル、ボイラ、環境保全機器、鉄鋼製品、文化・レジャー製品、料金収受機械、建設機械など数多く造っています。今回の航海実習は私にとっていい経験になりました。学校ではあまり話さないクラスの人ともたくさん話せたので、そういう意味でもよかったと思います。



IT フェアに参加して

田房研究室 卒業研究学生

平成13年10月13-14日、松山市アイテムえひめにおいて、えひめ IT フェア21が開催され、本校より情報工学科葛目・田房研究室の学生8名が参加しました。会場では、百周年記念事業のPR、学校案内の配布をおこないました。田房研究室の代表学生3名に当日の様子等をインタビューを試みました。

(Q1) どのような展示を行ったのですか。また、準備における苦労などありましたか。

(香川さん) テーマは、コンピュータによる運動の3次元再生です。展示として特徴点をマウスで抽出する作業を自動抽出できるようにしたソフト、3次元座標をワイヤーフレームで表示するソフトを展示しました。用途としては、スポーツやダンス、楽器演奏におけるフォームの解析及び矯正、また、身体が不自由な人や高齢者の動作解析により、その人に合った補助具の開発があげられます。準備する上で、苦労した点は、プログラミングがまったくといっていいほど、わからないので、本を調べたり教官や友達に聞いたりして、遅くまで学校に残ったり、夏休みも学校にきてプログラム作成をしたことです。また、展示用のパネル作りでは、プリンタの調子が悪く、IT フェアの前日(学校を出発する2時間前)まで、印刷をしていました。まさか、こんな所で時間をとられるとは思っていませんでした。

(Q2) 弓削商船のブースには、どのような方が見学に来られましたか。また、どのような質問、印象を持っていましたか。

(阿部さん) 見学に来た人は弓削商船を知っている方や、弓削商船出身の方、小学生や中学生の子



供を連れた家族等、学校自体に興味をもっている方たちが多かったです。質問は、私たちが説明をしてわからなかった事など展示に関する質問もありましたが、女子学生はどのくらいいるのかとか学校のシステム等、学校自体に対する質問がほとんどでした。印象は、弓削商船には商船学科だけしかないと思っている方が多く、情報工学科や電子機械工学科がある事を聞いて驚いているみたいでした。

(Q3) IT フェア参加における PR 効果や、来年度に向けて改善点があれば教えてください。

(安藤さん) 弓削という島があることを知らない、弓削島を知っていても弓削商船があるとは知らない、弓削商船を知っていても商船学科の他に学科があることを知らない人も多かったので、参加は大きな PR になったと思います。参加していた企業のブースは、通りかかる人に景品を配布し、企業のイメージアップや製品 PR に力をいれていました。弓削商船のブースは、企業ほどの PR はできませんでしたが、他の専門学校には負けないくらいの展示ができていたと思います。来年度は、実際に物にふれることのできる「体験コーナー」を設けると、お客さんが訪れてくれるのではないのでしょうか。

第1回医工学際研究・交流会の報告

商船学科 多田 光男

平成13年12月15日・16日の2日間、本校及び岡山大学医学部保健学科が中心となって第1回医工学際研究・交流会が本校練習船「弓削丸」の上で開催されました。本会合は工学分野と医学分野との相互の研究情報交換を目的としたものです。参加者は本校関係者5名、岡山大学医学部保健学科教員7名、インドネシアからの客員教員2名、その他地元弓削町役場の方をはじめ広島、福山、兵庫、東京などの各地から、老人ホーム関係、健康・医療器具関係、健康食品関係、医療事務・法務関係などにたずさわっておられる方々が11名、総勢25名というにぎやかな会合となりました。

会合では、次の8件の研究報告がありました。

(1)「離島における高齢者健康管理システムとネットワーク利用の検討」

弓削商船高専情報工学科 葛目 幸一

(2)「生体情報の計測法」

岡山大学医学部保健学科 山本 尚武

(3)「マイナスイオン医療器とその効果」

株式会社ウエルネス 清水 顕一

(4)「インドネシアにおける老人介護の現状と課題」インドネシアマラタナ大学

マリア ユリアナ

(5)「ヘルスプロモーションの展望」

岡山大学医学部保健学科 景山 甚郷

(6)「病院臭、老人臭などの消臭対策について」

有限会社オステン 東 啓明

(7)「多孔体の強度評価について」

弓削商船高専電子機械工学科 中山 恭秀

(8)「無線 LAN を用いた瀬戸内海離島の地域イントラネットの構想」

弓削商船高専商船学科 松下 邦幸

初日の夜は、大三島の民宿で懇親会を催し、2日目には大山祇神社参拝や来島海峡見学などもあり、参加者には大好評で有意義かつ充実した洋上セミナーでした。



初茶会

情報工学科4年 澤田 真子

「お茶会をしてみたいね」友達のこの一言から始まりました。私達が茶道部に入部してこの方、商船祭と総文以外で活動した覚えはありませんでした。毎週水曜日、先生に来ていただき稽古していても人前でそれを披露するのは年に2回だけ。そんなことから、「お茶会」を計画することになりました。そして話は着々と進み、年明け一番に「初茶会」という名でお茶会を開くことになりました。冬休み前に券を作り、校内中を売り歩きましたが、券は百枚も売れませんでした。予想はしていたけど、残った券を見ていると、当日のことが不安でした。

冬休み最後の日、私たちは白雲館に集まり、会場の準備をしました。お席は、イスに座って楽な

感じでお茶を楽しめるお席と、和室でゆっくりとお点前を楽しめるお席とを用意しました。道具の配置もきまり、後は本番に備えるだけとなりました。

当日、部員の女の子達は全員、着物を着てお茶会に臨みました。帯を締めると気持ちも締め、お茶会に対する期待が膨らんでいきました。

お茶会が始まると、殆ど途切れることなくお客さんがお茶を飲みに来てくれました。お客さんの前でお点前もさせていただき、私なりに精一杯の感謝の気持ちを込めたお茶を飲んで「おいしかったよ」と言ってもらえた事が何より嬉しかったです。

初茶会を終えて、私は今まで以上に茶道が好きになりました。また、もしこのお茶会を通してお茶に興味を持ってくれた人がいたとしたなら、本当に嬉しく思います。また機会があれば今回のような活動をしたいと思いますので、そのときはよろしくをお願いします。

最後に、いつも御指導してくださる先生方並びに茶道部を支えて下さっている方々、そして、お茶会に足を運んで下さった皆様に、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



ホームルームスキー旅行

電子機械工学科3年 石丸 貴之

1月12日13日に電子3年のホームルームで広島のドルフィンバレースキー場に行って来ました。参加は28人の電子3年の学生と、堤教官と岩堀教官が引率してくださりバスで行きました。

12日の朝7時50分に因島土生港を出発して11時くらいにスキー場に到着しました。スキー場につき、休憩するまもなく着替えてそれぞれゲレンデ

に出て滑り出しました。ほとんどの人がスノーボードでしたが、6人と教官はスキーだったので、スキーの学生は教官に指導してもらい僕と岡部、金本の3人は初心者コースに行って練習していました。初心者コースに行くとスノーボードをしている学生もいて一緒に滑りました。スノーボードは滑る前に座って足をボードに固定しないし、両足を固定していてバランスを取るのが難しいのでこけたりして、お尻が濡れて冷たそうに滑っていました。スキーはスノーボードと違って足はずっと固定しているし、座って装着する必要もないので、スノーボードに比べて滑る時間が長くて、あまりバランスも必要ないので上達するのは早かったです。

昼から夕方の4時くらいまでで、初心者コースは滑れるようになったので休憩をして夕食を食べました。夕食はスキー場の食堂で各部屋のメンバーで寄せ鍋をしました。夕食を食べた跡は少し休憩を取り、夜の8時くらいからオールナイトのリフト券を買って初級コースを滑りに行きました。夜だというのにスキーやスノーボードをする人達は増えていっていました。しかし、学生は1時を過ぎるとほとんどが、部屋に帰って寝ていました。

でも岡部君と僕の2人は、シャーベット状のゲレンデの上を朝の4時過ぎまで滑りました。その時には、他の客も帰り始めていました。それから8時くらいまで寝て、その日は帰る日でもあり、前日の疲れもあって、3時間程度しか滑れませんでした。

このクラスでいったスキー旅行は、ケガもなく終わり、電子3年の良い思い出になったと思います。また機会があればクラス旅行をしたいです。



留学生スキー教室

情報工学科4年 ファルク

毎年のような今年も1月19から20日まで2日間留学生スキーがありました。このスキーに参加者は3年生と4年生の留学生とそれぞれのチューターそして教官方でした。今年行ったのは女鹿平という名前のスキー場でした。車で2時間半ぐらいです。私にとって今回は2回目のスキーでした。母国は暖かい国でスキー場がないです。だから日本に来て初めてスキーの経験になるのは当たり前のことです。家族の皆スキーのことは全く分からなくて心配していました。そしてそれについて皆に色々注意されました。

今年のスキーは色々な点から見ると昨年より違いました。まずスキー場は昨年と違って人工場になっていました。人工場の雪が固くて細かくないので滑りにくかった。その上スキーの日晴れだって雪も少なかった。またスキー場の坂も激しかったです。昨年やったのに今年簡単に滑れると思ったんですがなかなか滑れなかった。最初の日よく転んだりしても次の日つれて行ってもらった教官たちに弱点を添削してもらってよく滑れるようになりました。私はどうしても滑れるようになりたい気持ちを持っていたのです。皆もよくできたと思います。私にとってスキーするのに一番大切なのは勇気のもちかたです。坂が急激に下がっても勇気を持って挑戦する事です。そして自分自身を持って滑ることです。

今年も昨年のようなスキーをビデオしました。そしてそのビデオテープを皆に配りました。それも教官にとっては大変な事でした。一言で言えば今年のスキーは非常に楽しかったです。そして責任を持って行った教官方に心から本当に感謝しています。



長崎の旅

情報工学科3年 アリフィン

私が日本へ来る前に日本のことあまり知りませんでした。46都道府県の中で3つしか知りませんでした。それは東京、広島、と長崎です。東京は日本の首都ですから、よく知られているのも当然です。広島と長崎は第二次世界大戦のとき原爆を投下された所で有名です。中学生の時、そのことを世界史の授業で聞いて広島と長崎へ行ってみたいと思いました。

今、在学している学校は広島の近くにありますが、長崎は遠くてなかなか行けませんでした。だが、やっとこの前の冬休みに行く機会に恵まれました。1泊2日の旅行で教官に連れていってもらいました。ツアーに参加したから、その短い時間で色々なところの見物ができました。

朝みんな早く起きて車で尾道まで行きました。そして、そこでバスが来るのを待ちました。8時ごろバスが来て、すぐバスに乗りました。1日目は長崎県の雲仙というところへ行きました。雲仙は温泉で有名です。長崎市からちょっと離れて、バスで1時間半ぐらいかかります。

雲仙に着いたのは午後4時ごろでした。荷物を部屋に置いてからすぐホテルの近くにある「地獄」へ行きました。煙がいっぱい出て、しかも臭っていました。硫黄の臭いです。

次の日に8時ごろホテルを出て長崎市へいきました。最初に行ったところはグラバー園です。昔はオランダ人の家だそうです。1時間ぐらいあそこにて、平和公園へ行きました。平和公園にある大きい彫像が面白い形をしていると思います。そして2時ごろ長崎から出発して尾道に向かいました。尾道に着いたのは夜10時ごろです。ちょっと疲れましたが、楽しかったです。



